

2026年8月19日

「Yakult（ヤクルト）1000 糖質オフ」「Y1000」 「Y1000 糖質オフ」をリニューアル発売 ～免疫機能維持の機能を追加～

株式会社ヤクルト本社（社長 成田 裕）は、機能性表示食品である乳製品乳酸菌飲料「Yakult（ヤクルト）1000 糖質オフ」「Y1000」および「Y1000 糖質オフ」に、免疫機能維持の機能を追加し、2026年10月5日にリニューアル発売します。

当社は、企業理念に基づき、免疫領域を重要な研究分野として位置づけ、乳酸菌を通じた免疫調節機能の研究に長年取り組んできました。

本リニューアルでは、乳酸菌 シロタ株について、新たに明らかとなった健康な人の免疫機能維持の機能を追加しました。従来訴求してきた「ストレス緩和」「睡眠の質向上※」「腸内環境改善」に、「免疫機能維持」を加えることで価値提案の強化を図り、お客さまの健康増進に寄与します。

なお、2026年10月から2027年3月までの販売目標（いずれも1日あたり）は「Yakult1000 糖質オフ」が1,156千本、「Y1000」が603千本、「Y1000 糖質オフ」が459千本です。

※ 睡眠の質とは、眠りの深さ、すっきりとした目覚めのことを指します。



【商品特長】（３品共通）

- ヤクルト独自の乳酸菌 シロタ株が当社史上最高密度の１ｍｌあたり１０億個含まれている、乳製品乳酸菌飲料です。
- 乳酸菌 シロタ株による一時的な精神的ストレスがかかる状況でのストレスをやわらげる機能や睡眠の質（眠りの深さ、すっきりとした目覚め）を高める機能、健康な人の免疫機能の維持に役立つ機能および腸内環境を改善する機能が報告されています。
- 乳酸菌 シロタ株を機能性関与成分とした機能性表示食品です。
（届出番号 「Yakult1000 糖質オフ」：L１０、「Y１０００」：L８、「Y１０００ 糖質オフ」：L１１）

＜機能性表示＞

本品には乳酸菌 シロタ株（L. カゼイ YIT 9029）が含まれます。乳酸菌 シロタ株（L. カゼイ YIT 9029）には、一時的な精神的ストレスがかかる状況でのストレスをやわらげる機能や睡眠の質（眠りの深さ、すっきりとした目覚め）を高める機能があることが報告されています。さらに、樹状細胞（cDC）に働きかけ健康な人の免疫機能の維持に役立つ機能、腸内環境を改善する機能があることが報告されています。

- ・本品は、特定保健用食品と異なり、機能性及び安全性について国による評価を受けたものではありません。届け出られた科学的根拠等の情報は消費者庁のウェブサイトで確認できます。
- ・医薬品ではありません。
- ・多量に摂取することにより、疾病が治癒したり、より健康が増進するものではありません。
- ・食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。

【商品情報】

商品名	Yakult1000 糖質オフ	Y１０００	Y１０００ 糖質オフ
商品分類	乳製品乳酸菌飲料		
容量	１００ｍｌ／本	１１０ｍｌ／本	
希望小売価格 （税別）	１３０円／本 ９１０円／７本パック	１５０円／本 ９００円／６本パック	
販売チャネル	ヤクルトレディ による訪問販売	スーパーマーケットやコンビニエンスストア などでの店頭販売、自動販売機での販売	

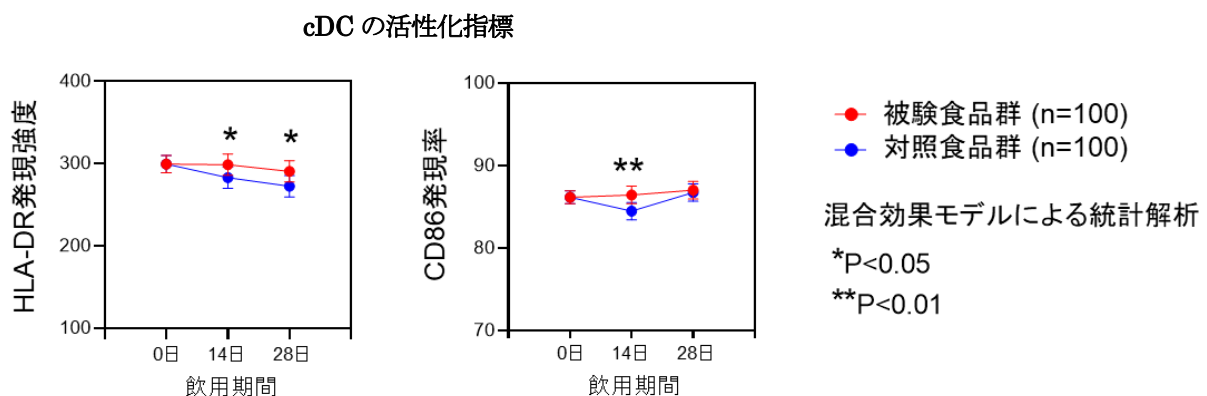
以上

<参考資料1：乳酸菌 シロタ株の免疫機能維持機能について>

1. 健康な成人男女 200 名（23～59 歳）をランダムに 2 群に分け、被験食品群には乳酸菌 シロタ株（L. カゼイ YIT 9029）を 400 億個含む飲料を、対照食品群には乳酸菌 シロタ株（L. カゼイ YIT 9029）を含まない飲料を、1 日 1 本（80ml）、4 週間摂取してもらい、免疫応答の起点となる樹状細胞（cDC、conventional DC）^{※1}の活性化指標（HLA-DR^{※2}、CD86^{※2}）を測定しました。本試験はランダム化二重盲検並行群間比較試験として実施されました。
2. その結果、cDC の HLA-DR の発現強度は、対照食品群と比較して摂取 2 週目・4 週目で被験食品群が有意に高値を示し、CD86 の発現率は、対照食品群と比較して摂取 2 週目で被験食品群が有意に高値を示し、cDC の活性化が確認されました。

※1 従来型樹状細胞。抗原提示により下流の免疫細胞を活性化する。

※2 cDC の細胞表面に発現するタンパク質であり、cDC の活性化を示す指標。



<出典>

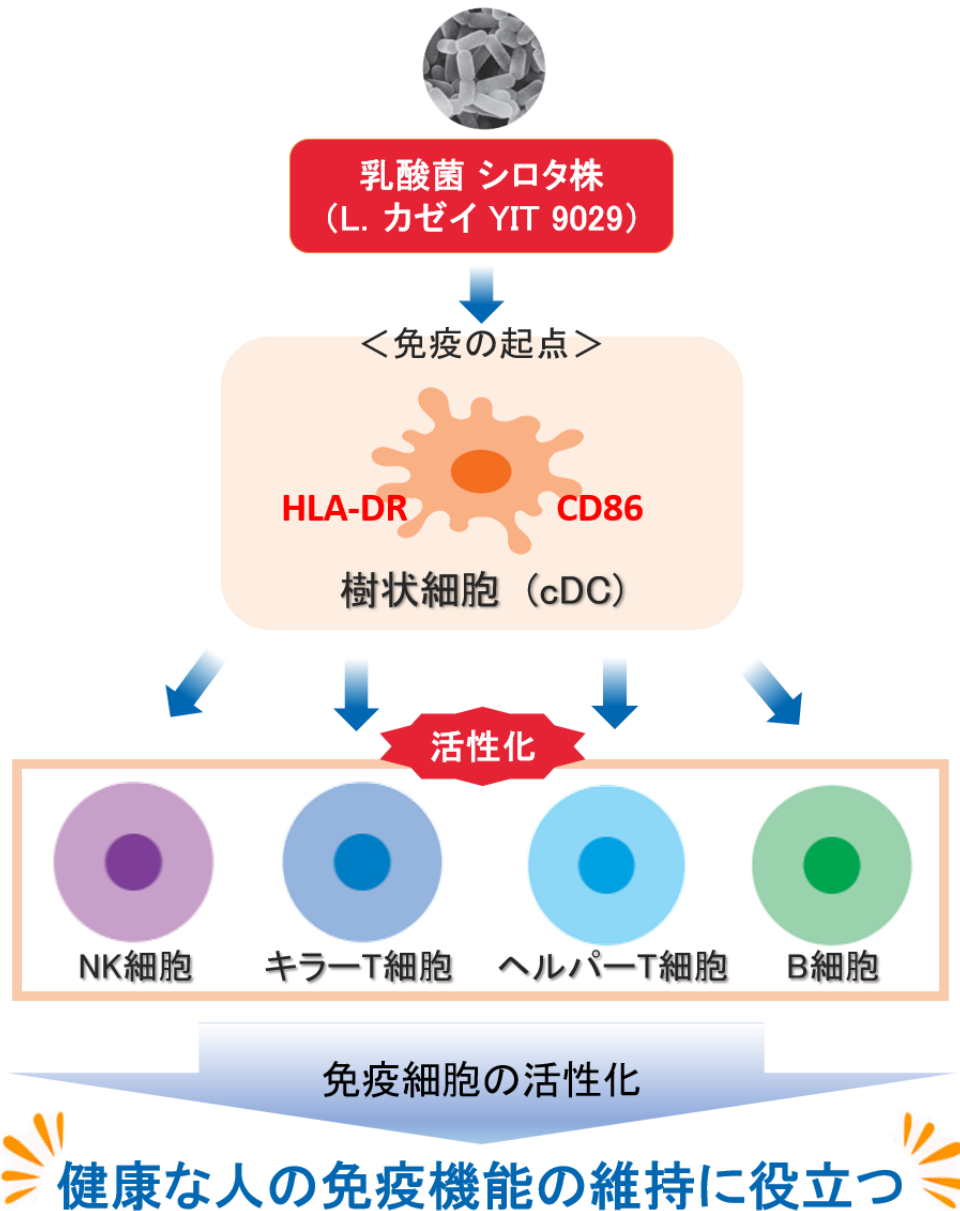
Naito T, et al. *Lacticaseibacillus paracasei* strain Shirota suppresses upper respiratory tract infections and activates mononuclear phagocytic cells in healthy Japanese office workers: a randomized, double-blind, controlled trial. *Biosci Microbiota Food Health*. 2025, 44(3), 215–226.

《データ選択理由》

- ・研究レビューの対象となった論文のうち、代表的なデータを事例として提示しています。
なお、本製品を用いた臨床試験ではありません。

＜参考資料2：乳酸菌 シロタ株の摂取による免疫機能維持作用のメカニズム＞

摂取された「乳酸菌 シロタ株」が cDC にはたらきかけ、cDC を活性化する。さらに cDC が起点となり、下流に位置する感染防御にはたらく免疫細胞に作用して免疫機能全体にはたらきかけ、健康な人の免疫機能の維持に役立つ。



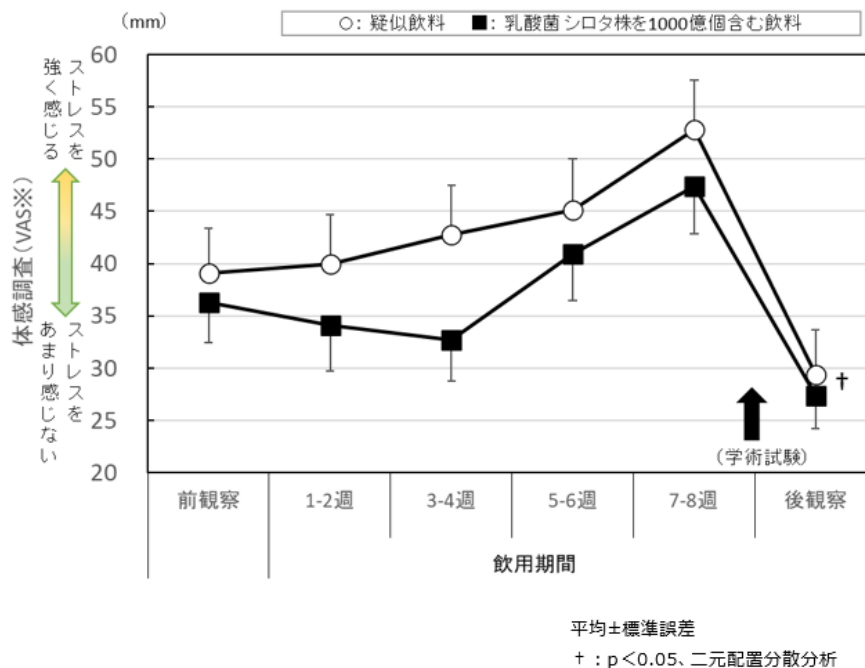
<参考資料3：乳酸菌 シロタ株のストレス緩和機能について>

【ストレスの体感】

1. 進級に重要な学術試験を受験する4年次の健常な医学部生の男女を2群に分け、被験食群には「乳酸菌 シロタ株（L. カゼイ YIT 9029）を1,000億個含む飲料」を、対照群には疑似飲料（味や外見は同じで、有効成分を含まないもの）を1日1本（100ml）、学術試験の8週間前から飲用してもらいました。
2. その結果、ストレス体感調査（VAS※）において、被験食群では対照群と比較して有意に低い値を示しました（対象者47名）。

※ Visual Analog Scale：視覚的アナログ尺度

長さ100mmの黒い直線の左端が「ストレスがまったくなかった（0mm）」、右端が「耐えられないほど強いストレスを感じた（100mm）」とし、評価対象の週にどの程度ストレスを感じたか、該当する箇所に印を付けてもらいました。



<出典>

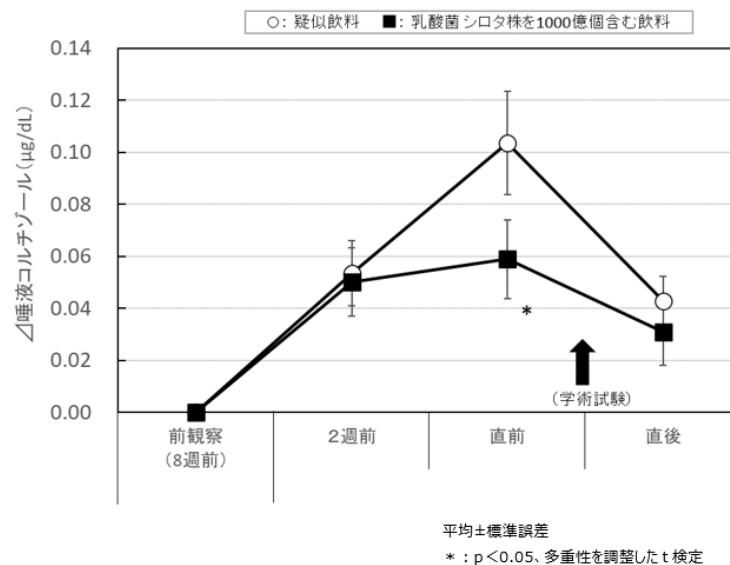
A. Kato-Kataoka et al. Fermented Milk Containing *Lactobacillus casei* Strain Shirota Preserves the Diversity of the Gut Microbiota and Relieves Abdominal Dysfunction in Healthy Medical Students Exposed to Academic Stress. Applied and Environmental Microbiology. 2016, 82(12), 3649-3658.

《データ選択理由》

研究レビューの対象となった論文のうち、代表的なデータを事例として提示しています。なお、本製品を用いた臨床試験ではありません。

【唾液コルチゾール】

1. 進級に重要な学術試験を受験する4年次の健常な医学部生の男女を2群に分け、被験食群には「乳酸菌 シロタ株 (L. カゼイ YIT 9029) を1,000億個含む飲料」を、対照群には疑似飲料を1日1本 (100ml)、学術試験の8週間前から飲用してもらう試験を3年度にわたり実施し、その3試験のデータを取りまとめて解析 (対象者140名) を行いました。
2. その結果、被験食群では対照群と比較して、ストレス下で増加することが報告されている唾液中コルチゾール濃度の上昇が学術試験の直前に有意に抑制されました。



<出典>

M. Takada et al. Probiotic *Lactobacillus casei* strain Shirota relieves stress-associated symptoms by modulating the gut-brain interaction in human and animal models. *Neurogastroenterology & Motility*. 2016, 28, 1027-1036.

《データ選択理由》

研究レビューの対象となった論文のデータを提示しています。なお、本製品を用いた臨床試験ではありません。

<参考資料4：乳酸菌 シロタ株の睡眠の質向上機能について>

【睡眠の質向上 (眠りの深さ、すっきりとした目覚め)】

1. 進級に重要な学術試験を受験する4年次の健常な医学部生の男女を2群に分け、被験食群には「乳酸菌 シロタ株 (L. カゼイ YIT 9029) を1,000億個含む飲料」を、対照群には疑似飲料を1日1本 (100ml)、学術試験の8週間前から試験終了後3週間まで飲用してもらう試験を2年度に渡り実施し、その2試験のデータを取りまとめて解析 (対象者94名) を行いました。

- その結果、脳波の測定による評価において、被験食群では対照群と比較して、熟眠（深い眠り）時間を示す指標（ノンレムステージ3の睡眠時間※¹）と熟眠度を示す指標（第一周期のデルタパワー※²）に有意な増加が認められました。
- OSA 睡眠調査票 MA 版※³による眠りの評価において、被験食群では対照群と比較して、「起床時眠気（すっきりとした目覚め）」を示すスコアに有意な改善が認められました。

※1 ノンレムステージ3の睡眠時間

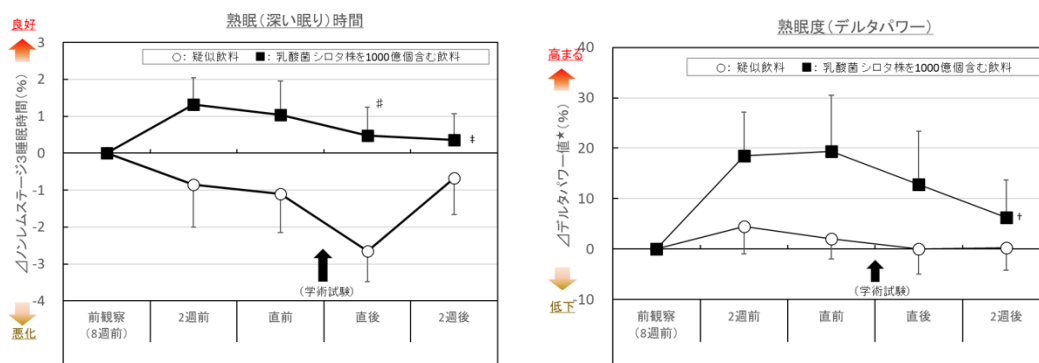
ノンレム睡眠を3段階（ノンレムステージ）に分類したときの最も深い眠りの段階（ステージ3）の時間を示している。

※2 第一周期のデルタパワー

周波数帯域が 4Hz 未満のゆっくりした脳波はデルタ波と呼ばれ、第一周期の深い睡眠時に多く出現することから、その量（デルタパワー）は熟眠度の指標とされている。

※3 OSA 睡眠調査票 MA 版

主観的な睡眠感を評価する調査票。

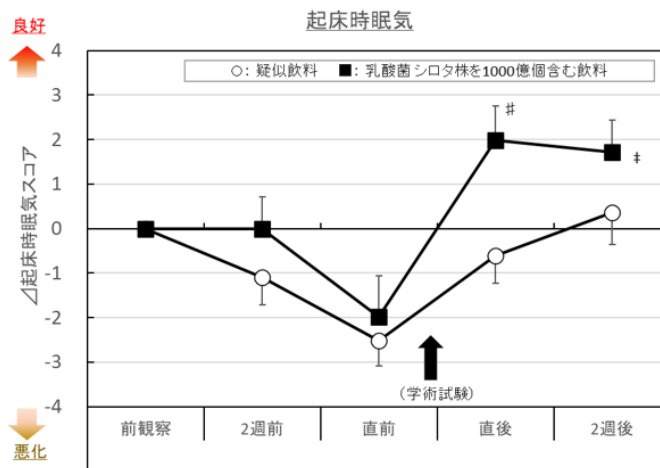


平均±標準誤差

+, #: $p < 0.05$, $p < 0.01$ 、二元配置分散分析

#: $p < 0.05$ 、時点での差、ボンフェローニ補正したt検定

★: 第1周期の1分あたりのデルタパワー ($\mu V^2/min$) から算出



平均±標準誤差

#: $p < 0.01$ 、反復測定分散分析

#: $p < 0.05$ 、時点での差、ボンフェローニ補正したt検定

<出典>

M. Takada et al. Beneficial effects of *Lactobacillus casei* strain Shirota on academic stress-induced sleep disturbance in healthy adults: a double-blind, randomized, placebo-controlled trial. *Beneficial Microbes*. 2017, 8(2), 153-162.

《データ選択理由》

研究レビューの対象となった論文のうち、代表的なデータを事例として提示しています。なお、本製品を用いた臨床試験ではありません。